

NPO法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 主催

「2019 植林ボランティアツアーin ハバロフスク」募集のお知らせ

あなたも、極東のタイガを守る活動に参加しませんか？

現地の子どもたちや市民と一緒に木を植えよう！

ロシアのシベリアの寒帯林（タイガ）は、アマゾンに匹敵する大森林地帯ですが、現在、大規模な伐採や火災により危機を迎えています。ハバロフスクを中心とした極東でも、日本や中国への木材伐採、森林焼失が広範囲で起こり、2013年にはアムール河がこれまで経験のない大洪水を起こし、未曾有の災害となっており、地球温暖化防止や生物多様性保全などを考える上でも、植林の必要性がますます高まっています。

NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会（武蔵野市・安藤栄美理事長、会員182人）は、1996年設立当初から、「寒帯林保全」「自然体験活動」「国際交流」を目的に活動してきました。

世界にさきがけ、1998年より寒帯林の植林ボランティアツアーを開始し、ハバロフスク市民や学生とともにハバロフスク市郊外などで、20年間に約6万本の植林を行い、5つの「友好の森」を作り上げてきました。さらに日本とハバロフスク地域の大学生交流や緑の少年団国際交流事業のコーディネートをするなどその活動を広めています。



今年のツアーでは、ハバロフスクに加え、アムールスク市やコムソモリスク・ナ・アムールレを訪れ、記念植樹を行い、日本人墓地をお参りして帰国します。植林初心者の方でも大歓迎ですので、ぜひご参加下さい。

このツアーは、(社)国土緑化推進機構「緑の募金国際緑化交付金」の助成を受け、ハバロフスク地方政府森林管理局・太平洋国立大学の協力で実施するもので、植林やエコツアー、ロシア大自然に興味のある方にお勧めの格安のツアーとなっています。

<日程・金額・募集人数>

2019年4月28日(日)～5月5日(日) 7泊8日 18万円 ※15名(初参加者優先)

※ 成田空港出発。食事付、燃油サーチャージ・ビザ取得手数料・個室追加料金は別途必要。

※ 途中解約の場合は、キャンセル料がかかります。

<申し込み・お問い合わせ>

申し込み開始:2019年1月1日(火)より 締切り:1月15日(火)

※FAX、Eメールまたはハガキ(必着)をお願いします。(電話は、留守番電話対応)

氏名、住所、電話番号(自宅及び携帯)、年齢を明記してください。

NPO法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会事務局 (URL:<http://mtxa.org/>)

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25

TEL&FAX: 0422-23-5351 E-mail: mail@mtxa.org